



小さなものづくりから始まる「しごとはじめ」×「誰でも学べる寺子屋」で
社会とのつながりに苦しさを抱える人たちに安心を

2020年度活動報告

一般社団法人栃木県若年者支援機構

2020年度活動概要

- 活動に関わった人員・・・約10名
- 活動内容・・・「ひきこもり」からの一歩目、をイメージした、ものづくりと学びなおし場の運営

【入口】LINE相談窓口の開設・「Spoon」を使ったストリーミング配信

【活動】<てしごとや>1回2時間の作業プログラム

<寺子屋>1回2時間の学習塾

【出口】サポートステーション等各専門機関との連携・

当事者の活動による就労など

2020年活動実績

【てしごとや】

プログラム開催数：150回

参加者：のべ328名

(3/31現在登録生30名・2020年度新規登録7名)

事業収入：¥512,029

【寺子屋】

県内7か所で開催

高認合格者3名

一部合格者4名

大学合格者1名

てしごとやにつながった人1名

利用人数 のべ512名



活動全体のふりかえり

2020年度は、JANPIAの助成金を得て活動を継続することができました。

活動の中でも、野州麻を使った製品作成は、新しい生き方を模索するための大きな一歩であったと感じております。

ほかにも、SNSやストリーミング配信を行い、新しい「困りびと」とのつながりを持つ端緒を作り始めています。

次年度は、さらにこれらの活動を発展させて、多様な生き方を提案できるよう取り組んでいきたいと考えております。

